

Windows7は、「東京オリンピックまで」と覚えて下さい

～Windows OS サポート期間まとめ～

(2018年9月28日時点)

製品名(OS)	サポート終了日 (延長サポート終了日)
Windows7 (Pro、Homeなど)	2020年1月14日
Windows8. 1 (Proなど)	2023年1月10日
Windows10 (Proなど)	2025年10月14日

「サポート」については、OSのセキュリティ上の問題が発見された場合にその内容を修復する仕組みの事です。

それにより「マルウェア（悪意あるソフトウェア）」や外部からの不正アクセスを防止してくれるものなので、ネットワークに繋がっているパソコンならサポートを受けれるOSを使わないと気付かないうちに他の人に迷惑を掛けるケースがあるので注意が必要です。

不安な点、ご不明な点は
お気軽に担当営業まで
御相談下さい。



★パソコンちよつといい話★

いよいよ、あと1年と数カ月で「東京オリンピック」です。オリンピックが開催される2020年はパソコン業界にとっても、大きな転換期が訪れる事を「存知でしょうか？」。現在市場で使われているパソコンOSのトップシェアはWindows10になりましたが、次にWindows7となっております。そのWindows7のサポート期間が2020年となっているため、それまでにOSの入替や環境構築など各企業への対応が迫られます。駆け込み需要による品不足が予測されますので早めの更新を！

BSS通信
～2018年10月号～

月日が流れるのは早いもので、あっという間に10月です。時間の流れの感じ方には諸説あるようですが、個人的には「新鮮な経験が多いほど時間の経過は長く感じる」という説に共感を覚えます。と、同時に「最近、新鮮な経験してないなあ」としみじみ振り返る今日この頃です(笑)
衰えるのは人間だけではありません！パソコンもほったらかしにしていると、置いてきぼりをくらいます。
若々しさを保つため、パソコンの入替で職場環境をリフレッシュしてみたいかがでしょうか。

ブラウザの閲覧履歴を密かに中国に送信、不正アプリがMac App Storeから削除

業務で多く利用されているWindowsの話ではなく、Macintosh(マッキントッシュ：以下「Mac」で表記)の話です。Macのアプリダウンロードサイトで提供されていた「Adware Doctor (迷惑ソフト対策ツール)」を調べたところ、主要ブラウザの閲覧履歴などの情報が中国のサーバへ送信されていたことが分かったという。

米AppleのMac向け公式ストア「Mac App Store」で提供されていたアドウェア対策の人気アプリが、ユーザーのブラウザ履歴を密かに中国に送信していたと伝えられたことを受け、同ストアから削除された。著名セキュリティ研究者のパトリック・ウォードル氏が9月7日のブログで伝えた。

問題になったのは、「ブラウザをアドウェア (迷惑ソフト) から守る」とうたったアプリ「Adware Doctor」。米国のMac App Storeでは4.99ドルで販売され、有料アプリランキングで4位に位置する人気アプリだったという。

ウォードル氏によると、Adware Doctorは以前から、レビューの水増し疑惑などさまざまな問題が伝えられていたが、最近になってユーザーの閲覧履歴が盗まれていると指摘する声が増した

そこでウォードル氏は、Mac App StoreでAdware Doctorを購入して詳しく調べた。その結果、主要ブラウザの閲覧履歴やストアでのアプリ検索履歴を記録した「history.zip」というファイルが、中国のサーバへ送信されていたことが分かったという。

Appleには1カ月も前にAdware Doctorの問題を報告し、Appleも調査を約束したのに、Adware DoctorはMac App Storeで販売され続けていたとウォードル氏は説明。

App Storeを「最も安全にアプリをダウンロードできる場所」と位置付けるAppleのうたい文句に対し、「その主張が本当かどうかも疑わしい」と批判する。

お問い合わせ
株式会社ビー・エス・サイトー

TEL:018-865-7400

FAX:018-865-7401

担当:澤木

Windowsでも「迷惑ソフト対策」「パソコンのスピードアップ」等と称したウイルス紛いの迷惑ソフトが存在します。
迷惑ソフト確認・駆除については弊社営業までご相談下さい。